

みんなの ひろば

はげっ子倶楽部会員の杉本さんの感想文が、福島民報9月4日付けの「みんなのひろば」に掲載されましたので紹介させていただきます。

松川浦の自然 守り続けたい

相馬市・杉本田鶴子

(薬剤師 67)

松川浦に自然保護区域ができた。被災地で初の試みである。

旧海浜自然の家から古湊までの十畝。汽水湖だけに、干満時に海水と淡水が行き来できるよう、震災前の水路をそのまま残した。国や県の担当者と動植物の専門家が松川

浦の自然の保存と保全を目的にして設定した。

先日、関係した専門家

や大学生、地元的环境団体「はげっ子倶楽部」などの二十数人でこの区域を初めて歩いた。ヨシやオオクゲ、ハママツナ、ハマサシが茂っている。アシハラガニが水際をはい回る。護岸の根固め石にはカキがべったり付いていて、その周りの水だけ、よく澄んでいる。大学の先生が「カニや貝、

ゴカイなど干潟の生物による水の浄化作用だ」と教えてくれた。

被災地の海岸は、ほとんどが人間のために分厚いコンクリートで固められ、まるで要塞（ようさい）のようだ。しかし、ここ松川浦は少し違う。自然を守ることを選んだのだ。美しい自然保護区域を後世に残せるよう、

微力ながら見守り続けていきたい。